

「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：魅力あるまちづくり日新 広報部
福井市文京5丁目1-8日新公民館
発行日：平成28年(2016年)6月20日

日新
まこと ひ あら
苟日新 荷に日に新たに
ひび あら
日日新 日々に新たに
また ひ あら
又日新 又日に新たなり
出典 「大学」



日新地区の交通事情

さんさんバス 伸び悩む乗客数

地域活性化に不可欠な交通機関

高齢化時代の対応策の一つとして、平成24年11月から運行している「日新さんさんバス」は、それまでの乗客数が評価され、平成27年10月に本格運行となりました。これにより、毎年評価される事はなくなりましたが、平成30年には、存続か廃止かが問われることになっています。乗客数月750人がその評価ラインで、現在、乗客数は昨年11月に減少したまま推移しており、月500人前後に止まっています。この人数のままでは、運行の継続は望めません。



新しいルートを行くさんさんバス

この事態に対処するため、交通部会では、福井市や京福バスと連携して数々の対策を講じています。具体的には、運行ルートと運行時刻の改正や乗り継ぎバス停留所の移転などを行って利便性の向上等を図り、また、バスサポーターの拡充や回数券の割引、交通部会独自の企画立案さらに公民館での活動を運行時刻に合わせてもらうなどの動員策・促進策を積極的に打ち出しています。

地域の活性化は、公共交通機関に依るところが大きく、「高齢化社会に必要な不可欠なさんさんバスの存続のために、ご協力をお願いします！」と交通部会は呼びかけています。

日新地区の交通事情

交通部会



楽しみ企画参加で 笑顔と元気を!

交通部会 部会長 山口 満

5月16日(月)、最高の旅行日和に恵まれ、「すかつとランド温泉行き企画」に参加してきました。当日は、顔なじみの参加者約20名の活気に溢れた会話とそのたびに溢れる笑顔が、和やかなムードを醸し出し、参加者の良好な関係がしっかりと根付いているように見受けられました。本格運行以降、業績の若干の右肩下がりが心配になっていましたが、このような参加者の関係を見ていると、とても大きな勇気を貰ったように思います。

私たち交通部会は、元気になって頂くことを願い、差し出がましいとは思いますが、地域住民、特に高齢者の皆さんに次の事を提案させていただきます。

- 一つ、楽しい場面と機会に積極的に参加しましょう
- 一つ、絶えず笑いと言気さを保つよう心掛けましょう
- 一つ、周りの人たちとの交流を多くするよう努めましょう
- 一つ、歌をうたう、喋る(会話する)を多くしましょう

左の4つの事柄は、バスを利用したおもしろく楽しいそして参加しやすい企画で実践していきます。具体的には、「カラオケ昼食会」や「すかつとランド温泉企画」、「鯖江・武生企画」などです。

また、6月10日に開催した、IA.gate(若

者の地域参画事業)の「公民館カフェ」と交通部会の「映画会」とのコラボ企画、「コーヒー(お茶)を飲んで映画を見よう!」も今後引き続き開催していきたいと思っています。因みにこの日は、およそ30人が参加して映画やコーヒーを楽しみました。

今後も、コミュニティバス・日新さんさんバスが積極的に活用されるような企画立案をしてまいります。多くの方の参加やご協力をお願い致します。



懐かしの映画を楽しみました

この度、日新小学校長として勤務させていただくことになりました。まだまだ不慣れで、至らない点多々あると思いますが、何卒よろしくお願ひ致します。

昨年、日新小学校は創立40周年を迎え、盛大に記念式典を行ないましたが、私が日新地区を知ったのは、今から38年ほど前、私が大学生の頃です。同じサークルの友人が日新地区内に下宿をしていたので頻繁に訪れていました。



日新小のモニュメント

近くに白山神社や新しい学校があったのを覚えています。しかし、あの頃と比べると、現在はマンションやコンビニが建ち並び、すっかり様変わりしてしまいました。児童数は一番多いときは500名を超えていましたが、本年は261名と、約半数に減ってきました。日新小学校の子どもたちは、地区の皆様方に見守られて、素直で、明るい挨拶ができる子に育っています。本校の校名の由来にもなっていますが、「筍に日に新たに、日に新たに又日に新たに」の精神を忘れず、今後とも地域・家庭・学校が密接に連携を取りながら、子どもたちの健全な成長のために努めていきたいと思ひます。日新地区の皆様のご理解とご支援をよろしくお願ひ致します。



区民体育大会で「日新音頭」を踊る校長

今年も、子ども神輿を先頭に、青空の下、9時に乾徳ふれあい会館を出発しました。途中、踊りを披露するなどして、約150人が元気に乾徳地区を巡行しました。

ねじり鉢巻きとはいきませんでしたが、糊の利いた法被姿の子ども達が凛々しく感じられました。また、大人神輿も乾徳地区をはじめ、花月地区など広範囲にわたって練り歩きました。



日新公民館に建てられています

乾徳で春祭り

大型連休の最中、乾徳春祭りが開催されました。

この祭りは、神明社の春祭りを祝うもので、毎年5月4日に行なわれています。

今年も、子ども神輿

を先頭に、青空の下、

9時に乾徳ふれあい

会館を出発しました。

途中、踊りを披露する

などして、約150人

が元気に乾徳地区を

巡行しました。

ねじり鉢巻きとは

いきませんでしたが、

糊の利いた法被姿の

子ども達が凛々しく

感じられました。

また、大人神輿も

乾徳地区をはじめ、

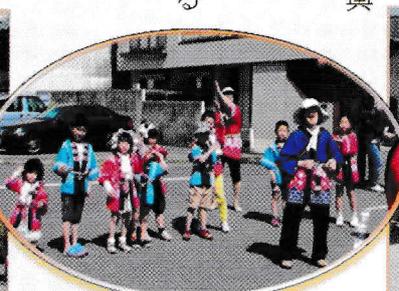
花月地区など広範囲

にわたって練り歩

きました。



力いっぱい曳きました



子どもおぼあちゃんも元気に踊りました



和やかに いざ 出発!

日新さんさんバス情報



会員募集中心!です

会員になると、11枚綴り千円のバスの回数券が、700円になります。ただし、会員登録代として千円が掛かります。

入会手続きや回数券の事など、さんさんバスについてお聞きになりたい事がございましたら日新公民館までお問い合わせ下さい。また、運行ルートや運行時刻を変更して約三カ月が経ちました。運行ルートや運行時刻についてのご意見やご要望をお寄せ下さい。

日新かるた紹介 (10) みんなで踊ろう 日新音頭

昭和52年(1977)に、初代日新小学校・長谷川賢志校長が作詞され、音楽担当の前川外久子先生が作曲、前田和子先生が振り付けをしてきました。

日新地区の人からは、覚えやすく、踊りやすく、歌いやすいと親しまれ、体育大会、地区のまつりなどで多くの人に踊られています。(郷土の魅力再発見「日新かるた」解説書より)



底喰川で希少植物を確認！

清掃活動に弾み

環境部会 副会長 前川 栄寛

「県のレッドデータブック(RDB)に記載されている希少水生植物3種が底喰川に繁茂しているのが見つかった」と、福井新聞(平成27年11月18日発行)が伝えました。

さらに、「コウホネなどの生態に詳しい新潟大学の志賀隆准教授が、『市街地でコウホネ等が繁茂するのは、昆虫や魚類など他の生きものにとってもよい環境が残っていると。生物多様性の維持という観点で貴重な場所』と指摘する」とも伝えています。



ナガエミクリ(長柄実栗)



コウホネ(河骨)

希少水生植物が確認されたのは、下流の三郎丸ですが、日新地区民の環境維持活動の成果でもあると思います。

この様な成果を励みに、28年度の事業を推進して行きたいと思っています。具体的には、①地区の美化清掃の取り組みを実施します。一斉清掃や定例清掃などです。また、美化意識を高めてもらうため次世代の人にもこの活動に参加してもらう予定です。②布ぞうりづくりを実施します。これは、「もったいない」や「捨てる前にもう一度」を意識して、3R運動(「再資源化・減らす・繰り返し使う」の事です)を、ものづくりを通して考えてもらう趣旨で開催します。③児童生徒さんには、自然界に対する感性を高めて貰うた、底喰川を中心に自然環境と生植物の観察会を開催します。地区の皆さんのご協力とご参加をお願いします。

、底喰川を中心に自然環境と生植物の観察会を開催します。地区の皆さんのご協力とご参加をお願いします。

分の地域を知る」絶好の機会であり、今年度も取り組むことになっています。同時に、昨年好評だった「ウオークDの五・七・五」も継続する予定です。その他、放課後の子ども教室(囲碁や将棋、茶道、華道、書道を学びます)の運営支援や貸出し図書書の整理整頓を年間通じて行なうことになっています。



文化部資料写真

福井県かるた協会から派遣してもらった塾練者の実演を体感する予定です。一方、10月に予定している公民館まつり前日祭ウオークは底喰川周辺を歩き、大人から子どもまで「自

日本の伝統文化の継承事業は、茶道や華道を皮切りに、秋の七草鑑賞、月見だんご賞味そしてかるた会と時節に応じて実施していきます。特にかるた会については福井県かるた協会から派遣してもらった塾練者の実演を体感する予定です。一方、10月に予定している公民館まつり前日祭ウオークは底喰川周辺を歩き、大人から子どもまで「自



文化部資料写真

文化部

28年度活動は「伝統文化の継承」

文化部 部長 山崎 豊

日本の伝統文化の継承を中心に公民館まつり前日祭や放課後子ども教室の開催などの事業を展開していきます。



文化部資料写真

「えち鉄」「福鉄」相互乗り入れ

乗り換えなしで越前市方面へ！

日新地区の交通事情

日新地区と春山地区・新田塚地区の東の境界線を走るえちぜん鉄道(えち鉄)三国芦原線と福井鉄道(福鉄)福武線の相互乗り入れが、今年3月27日に始まりました。区間は、えち鉄鷺塚針原駅(福井市)から福鉄越前武生駅(越前市)間の約27キロ。「フェニックス田原町ライン」と呼ばれ、この間乗り換えなしで移動できるようになりました。通勤・通学の利便性が大幅に向上したばかりでなく、



矢印の先が従来の高いホームです

は、道路との段差が少なくなり、乗降がとても楽になりました。日新地区内では、地区に隣接する福大前西福井駅や日華化学前駅、八ツ島駅の3駅にも LRV(次世代型低床車両)用の低いホームが造られています。

さんさんバスからの乗り換えで鯖江市や越前市方面への“チョイ旅”も可能となりました。ただし、福井駅へは行きませんから注意が必要です。

ここで使用されている車両は、福鉄の「FUKURAM」とえち鉄の「キーボ」で、いずれも LRV(次世代型低床車両)です。



福大前西福井駅ですれ違う FUKURAM(左)とキーボ(右)

そのため、今までのホームとは別に低いホームを増設しました。低いホーム

眼の病気 白内障と緑内障

～似ている病名 全く違う病気～

協力:まつだ眼科



症状
&
原因

白内障

⇒眼の中のレンズが濁り、視力が低下していく。

緑内障

⇒視神経（眼球と大脳を繋いでいる）から広がる網膜が傷み、視野が欠けていく。

検査
&
診断

⇒初診時から、顕微鏡検査（眼科診察専用のものは、細隙灯と言います）、眼底検査をします。

⇒見た目以上に症状が重い場合は、散瞳検査で他の疾患を除外します。

⇒検査の時間は、30分～40分です。

⇒検査終了のあと、3時間～4時間は一時的に視力が低下します。車の運転などは避けます。

治療法

白内障

⇒手術療法が発達しており、ほとんどの場合、日帰り手術が可能で、1回の手術で完治します。

⇒徐々に視力が低下していくと、気付かない場合もあるので、定期的に検診をしましょう。

⇒運転する人は視力0.7を目安に治療しましょう。

緑内障

⇒点眼による視神経の保護をします。

⇒効果が不十分な場合は、手術をします。

⇒手術は、病気の進行を遅らせるもので、良くなることはありません。

⇒自覚症状が出てから失明までの期間が短い為、早期発見が大切。定期検診を受けましょう。

早期発見、早期治療のために 定期的な検診をお奨めします。

わかまち自治会

東堀の宮自治会

自治会 会長 清水 文男

東堀の宮自治会は堀ノ宮地区の北東に位置しています。昭和40年ごろに土地区画整理が実施され、県内各地より当地に移住されてきた人もおられます。遠くは、真名川土砂水害の被災地、大野市中島地区から来られた方もおられます。

当初は、西藤島地区に属し、また八ツ島自治会（現在の宮島地区）に属した頃もありました。その後、堀ノ宮自治会に編入して、堀ノ宮の東に位置することから、「東堀の宮自治会」と命名されました。「東堀の宮」とひらがなの「の」を使うようにしたのは、住民の方々にわかりやすくするためです。

私は、この町に移り住み8年が経ちましたが、自治会長の仕事は戸惑うことばかりです。家族の支えやご近所の方々に助けて頂き、何とかやっています。この原稿も、いつもお世話になっている方に自治会の歴史を教えて頂き、仕上げる事ができました。感謝しています。

また、先日の区民体育大会では他の自治会の役員の方、体育振興会の方、子供会役員の方、学校の先生、婦人会の方など地域住民が一体となり開催されていたことに改めて気づかされ、感動しました。今後も住民の方が協力し合い、安心した暮らしが継続できるよう、力になりたいと思っています。



西藤公園（日新小学校側から撮影）

区民体育大会 開催

乾徳チーム 2連覇!

第38回日新区民体育大会が、5月15日の日曜日、日新小学校校庭で開催されました。

絶好の運動会日和のもと、昨年優勝の乾徳チームを先頭に、堀ノ宮、文里、宮島の児童261人が入場行進。700余人による開会式の後、午前9時過ぎから午後3時過ぎまで熱戦が繰り広げられました。結果は、終始リードし続けた乾徳チームの2年連続優勝で幕を閉じました。

初夏を思わせる気候の中、時折吹く少し強い風が肌に気持ちよく感じられた一日でした。



私は、東堀の宮自治会に隣接する「西藤公園」が大好きです。広々とした敷地に自然がたくさんあって、散歩するだけで気持ちが良くなるからです。身も心もリフレッシュできます。